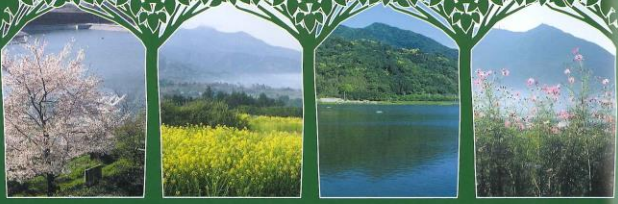


# ハイキングマップ 桜川市

The Map for hiking in SAKURAGAWA



## 桜川市へのアクセス

- 電車でお越しの場合  
JR水戸線 常陸大宮駅下車。タクシーで約15分  
桜川市役所 常陸大宮駅 JR水戸線「常陸大宮」下車。徒歩で約15分  
桜川市役所 常陸大宮駅 JR水戸線「常陸大宮」下車。タクシーで約20分
- つくばエクスプレスを利用した場合  
つくばエクスプレス「つくば駅」で下車し、つくばセンター発着バス3番のりば常陸シャトルバス乗車「筑波山口」で下車し、  
桜川市役所 大和庁舎 タクシーで約30分  
桜川市役所 常陸庁舎 タクシーで約20分
- お車でのご来市の場合（東京方面から）  
桜川市役所 常陸自動車道「土浦北インターチェンジ」から約50分  
大和庁舎 常陸自動車道「桜川西インターチェンジ」から約10分  
桜川市役所 常陸自動車道「桜川西インターチェンジ」から約5分  
常陸庁舎 常陸自動車道「土浦北インターチェンジ」から約50分  
桜川市役所 常陸自動車道「土浦北インターチェンジ」から約40分  
常陸庁舎 常陸自動車道「桜川西インターチェンジ」から約15分
- 桜川市役所 大和庁舎  
〒309-1290 茨城県桜川市富田1023番地  
TEL: 0296-58-5111 (代) FAX: 0296-58-5115
- 桜川市役所 常陸庁舎  
〒309-1292 茨城県桜川市富田新4番地2  
TEL: 0296-75-3111 (代) FAX: 0296-75-5672
- 桜川市役所 常陸庁舎  
〒309-1292 茨城県桜川市富田新911番地  
TEL: 0296-55-1111 (代) FAX: 0296-54-0417

## 楽しいハイキングをするために

- ① 事前にコースを充分検討し、時期別に準備のあるスケジュールを組む。事前に地図を確認し、コースを確認する。
- ② 地形と地質をよく見比べながら歩き、常に現在地を確認できるようにしましょう。
- ③ 道がむづかしいと思ったら、間違いないところまで戻りましょう。
- ④ 大雨や雷雨の場合は、濡りやすく、凍結して危険なところもありましたので注意しましょう。
- ⑤ 植物や動物を採ったり置いたりしないようにしましょう。
- ⑥ 標識、案内板、休憩所、トイレなどの施設を大切にしましょう。
- ⑦ 自分で出したゴミは、持ち帰ります。
- ⑧ きめられた場所以外での喫煙やたき火はやめて、山火事を起こさないように注意しましょう。
- ⑨ ハイキングコースへの自動車でオートバイの乗り入れはできません。

## 観光のお問合せ先

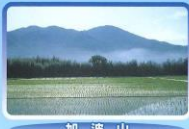
桜川市役所 常陸庁舎 常陸支店 (内線 3151~3153)  
〒300-4495 茨城県桜川市富田新911番地  
TEL: 0296-55-1111 (代) FAX: 0296-54-0417



## 常陸三山（筑波山、足尾山、加波山）

真壁・大和地区を南北に連なる筑波山・足尾山・加波山は常陸三山と呼ばれ、古くから茨城の山岳信仰の中心地としてその名を歴史に刻んできました。  
標高877mの筑波山は日本百名山のひとつに数えられ、茨城県を代表する山です。女性山の山頂からは広い関東平野を一望できます。  
標高828mの足尾山は『常陸國風土記』には常陸とあり、山頂には足に關して靈験のある神社があります。境内には多くの建物等が奉納されています。  
標高709mの加波山は神定として知られ、山頂付近には数百年に及ぶ奇岩や怪石があります。山中には天狗が棲んでいるという伝説も残っています。

常陸三山にはたくさんのハイキングコースがあり、静かな山歩きを楽しめます。また足尾山周辺はハングライダーやパラグライダーなどスカイスポーツのスポットとして人気を集めています。



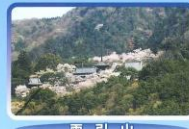
加波山

足尾山

筑波山

## 雨引山

標高409mの雨引山は、縄文時代の干ばつによる大飢饉があり、この山で降雨祈禱を行ったところ、7日夜に大雨が降ったので、この山を「雨引山」と呼ぶようになったとされています。  
中腹にある雨引山薬法寺（雨引観音）から山頂まではハイキングコースが整備されています。



雨引山

## ハイキングコースの見どころ

### 富谷山小山寺と富谷山ふれあい公園

富谷山小山寺は天平7年(735年)行基菩薩が開山したといわれ「富谷観音」の名で親しまれています。三重の塔は国の重要文化財に指定されています。  
富谷山ふれあい公園は富谷山小山寺(富谷観音)のすぐそばにある公園です。高台にあるため、市内を一望できます。  
また、天気のいい日は富士山を見ることができ、国の「関東富士百景」に登録されています。



### カタクリの群生

麓で桜が咲く頃、筑波高原キャンプ場周辺ではカタクリが一面に群生します。エリソソクやキクザイチュウなども可憐な姿を見せてくれます。



### 花の入公園

加波川中流の自然の地形を活かして造られた公園で、芝生の広場、遊歩道、アスレチックなどが整備されています。



### スタジイ樹園

檜尾山薬王院一帯には、斜道2.8メートルに27本のスタジイ(種の木)が群生しています。指定樹齢は300〜500年で、県指定樹園となっています。



### 桜川のサクラ（桜川市役所）

観音崎神社の参道をほどほど、南側の1畝に及ぶ桜の並木は、本来から自然の百景として知られ、紅葉之时多くの観光客が散策しています。東北東のシロヤマザクラの中心で、品種も桜川白・梅鉢桜・白雲桜・薄毛桜・初冠桜・初冠桜・源氏桜・大和桜・青毛桜・青毛桜などあり、国の重要文化財に指定されています。  
現在、日影はほとんど枯死し、メイヨシノ、ヤマザクラなどを補植していますが、国の名所として、また、特別天然記念物である富谷山「桜山」の舞台として、多くの人々に親しまれています。



### 雨引山薬法寺（雨引観音）

雨引観音もも呼ばれ、中国から傳化した空海観音菩薩が87年に開山したと伝えられる古刹です。聖武天皇、孝徳天皇の御座が傳く。その後、弘法大師によって真言宗の道場となりました。現在には空海菩薩の御坐像として広く知られる観音菩薩のお寺です。桜の名所でもあり、6月にはアジサイ祭も開かれます。



### 羽鳥道

真壁と筑波山頂の山頂間本線を通り羽鳥道は、古くは修験道の山岳修行の道でしたが、江戸時代中期から登山に広まった修験道の山岳修行道となりました。  
道沿いには当時の遺影を祀る石燈籠や古道具などが数多く残っています。



### 筑波高原キャンプ場

筑波山の中腹、標高500mの場所に自然豊かなキャンプ場です。キャンプ場周辺には林の整備で、1000本の杉が生えています。昔にはカタクリやエリソソクが咲き、近くを流れる沢ではワカビやカンシウツウオの姿を見ることができました。気候のよいゴールデンウィークや夏休みも、キャンプやバーベキューを楽しむ人も増えてきました。

